

目次

1. 食道がん 術前 FP療法 (715011)	2
2. 食道がん 進行再発 FP療法 (715013)	2
3. 食道がん 根治的 FP+放射線併用療法 (715015)	3
4. 食道がん 進行再発 ドセタキセル療法 (71533)	4
5. 食道がん 進行再発 ニボルマブ [2週毎]療法 (715002)	5
6. 食道がん 進行再発 ニボルマブ [4週毎]療法 (715002)	5

初版 2020年12月04日

第2版 2020年3月01日

作成 羽生総合病院 外来化学療法センター/薬剤科

1. 食道がん 術前 FP療法 (715011)

薬品名	略語	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日	備考
シスプラチン	CDDP	80mg/m ²	点滴静注	90分	Day1	遮光して投与
フルオロウラシル	5-FU	800mg/m ²	持続静注	24時間	Day1-5	

■ 1コース期間：21日毎、総コース数：2コース

■ 参考文献：J Clin Oncol 21:4592-4596, 2003. Ann Surg Oncol 19:68-74, 2012. (JCOG 9907)

2. 食道がん 進行再発 FP療法 (715013)

薬品名	略語	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日	備考
シスプラチン	CDDP	80mg/m ²	点滴静注	90分	Day1	遮光して投与
フルオロウラシル	5-FU	800mg/m ²	持続静注	24時間	Day1-5	

■ 【進行再発】 1コース期間：28日毎、総コース数：6コース (FP+放射線併用療法後の場合は2コース)

■ 参考文献：Jpn J Clin Oncol 22:172-176, 1992. Eur J Cancer 33:1216-1220, 1997.

■ 催吐リスク : 高

■ 発熱性好中球減少リスク : 低

■ 血管への影響 : CDDP：炎症性抗がん剤、5-FU：炎症性抗がん剤、

■ 主な有害事象

- ・ 5-FU：食欲不振、下痢、口内炎、骨髄抑制、心筋虚血、白質脳症
- ・ CDDP：悪心、嘔吐、食欲不振、倦怠感、腎機能障害、骨髄抑制、聴力障害 (80mg/m²以上)、末梢神経障害 (300mg/m²以上)、電解質異常 (特に低 Mg 血症が特徴的)

■ 減量基準

	CDDP	5-FU
1段階減量	60mg/m ²	600mg/m ²
2段階減量	40mg/m ²	400mg/m ²

■ 腎機能によるシスプラチンの減量基準

Ccr 45-60mL/min	75%に減量
Ccr 30-45mL/min	50%に減量
Ccr <30mL/min	中止

3. 食道がん 根治的 FP+放射線併用療法 (715015)

薬品名	略語	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日	備考
シスプラチン	CDDP	70mg/m ²	点滴静注	90分	Day1、29	
フルオロウラシル	5-FU	700mg/m ²	持続静注	24時間	Day1-4 Day29-32	
放射線療法		2Gy			Day1-5,8-12,15-19,29-33,36-40,43-47	

■ 1コース期間：56日間、総コース数：1コース（後治療としてFP療法2コース追加）

■ 参考文献：Jpn J Clin Oncol 34:615-619, 2004. Jpn J Clin Oncol 39:638-643, 2009. Cancer Sci 106:407-412, 2015.

■ 催吐リスク：高

■ 発熱性好中球減少リスク：低

■ 血管への影響：CDDP：炎症性抗がん剤、5-FU：炎症性抗がん剤、

■ 主な有害事象

- ・ 5-FU：食欲不振、下痢、口内炎、骨髄抑制、心筋虚血、白質脳症
- ・ CDDP：悪心、嘔吐、食欲不振、倦怠感、腎機能障害、骨髄抑制、聴力障害、末梢神経障害、電解質異常（特に低Mg血症が特徴的）

■ 減量基準

	CDDP	5-FU
1段階減量	50mg/m ²	500mg/m ²
2段階減量	35mg/m ²	350mg/m ²

4. 食道がん 進行再発 ドセタキセル療法 (71533)

薬品名	略語	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日	備考
ドセタキセル	DTX	70mg/m ²	点滴静注	60分	Day1	

■ 1コース期間：21日毎、総コース数：PDまで

■ 参考文献：Ann Oncol 15:955-959, 2004.

■ 催吐リスク：低

■ 発熱性好中球減少リスク：中

■ 血管への影響：DTX：起壊死性抗がん剤

■ 主な有害事象

- ・ DTX：骨髄抑制、悪心、嘔吐、脱毛、倦怠感、末梢神経障害、皮疹、爪の変化、感染、浮腫・胸水・体液貯留（300～400mg/m²以上）

■ 減量基準

	DTX
1段階減量	60mg/m ²
2段階減量	40mg/m ²

5. 食道がん 進行再発 ニボルマブ [2週毎] 療法 (715002)

薬品名	略語	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日	備考
オプジーボ® (ニボルマブ)		240mg	点滴静注	30分	Day1	フィルター投与

- 1コース期間：14日毎、総コース数：PDまで
- 参考文献：Lancet Oncol 20:1506-1517, 2019

6. 食道がん 進行再発 ニボルマブ [4週毎] 療法 (715002)

薬品名	略語	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日	備考
オプジーボ® (ニボルマブ)		480mg	点滴静注	30分	Day1	フィルター投与

- 1コース期間：28日毎、総コース数：PDまで
- 参考文献：小野薬品工業社内資料（母集団薬物動態（PPK）解析：480mg 固定用量とする用法用量変更時資料）

- 催吐リスク：最小
- 発熱性好中球減少リスク：低
- 血管への影響：ニボルマブ：不明
- 主な有害事象
 - ・ ニボルマブ：下痢、疲労、そう痒症、発疹、間質性肺疾患、横紋筋融解症、大腸炎、1型糖尿病、肝機能障害、肝炎、甲状腺機能障害、神経障害、腎機能障害、下垂体機能障害、静脈血栓塞栓症、インフュージョンリアクション

■ 減量基準

	ニボルマブ
1段階減量	減量規程なし